

科目コード	A318
授業科目名	クリティカルケア論
授業科目名(英文)	Introduction to Critical Care Nursing
講義室等	1105、1356
学科	看護学科
対象学年	3年
開講学年	前学期
必修・選択の別	選択
単位数	1
時間数	15
該当ディプロマ	看DP-2、看DP-3
学科	
対象学年	
開講学年	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
担当教員	永松 有紀
授業の概要	クリティカルな状態にある患者と家族の特徴について理解し、看護に必要な基礎的知識と技術について学習する。人工呼吸器装着中の患者を事例とした演習では、安全の確保、苦痛の緩和などの看護について学ぶ。講義・演習を通じてクリティカルケアにおける看護師に必要な能力や態度について考察を深める。
授業の到達目標 (学修効果)	1. クリティカルな状態にある患者とその家族の特徴について説明できる。 2. クリティカルケア看護における臨床判断の特徴について説明できる。 3. クリティカルな状態にある患者(人工呼吸器装着中の事例)の看護援助について説明できる。
予習復習の所要時間	講義時間16時間(2時間×1コマ×8回)+予習・復習29時間
成績評価方法	講義前の課題(30%)、グループワークへの参加姿勢(10%)、小テスト、レポート(60%)で60点以上を合格とする。
教科書	佐藤まゆみ・林直子編「成人看護学 急性期看護Ⅱ 救急看護・クリティカルケア」2019年(南江堂) ISBN: 978-4-524-24164-4
参考書	明石恵子・益田美津美 編「経過別成人看護学1 急性期看護:クリティカルケア」2017年(メヂカルフレンド社) ISBN: 978-4-8392-3325-9
その他	

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R3.4.20	火	IV	ガイダンス クリティカルケア看護の目的、対象、基盤となる理論	講義	永松 有紀		
				予習 教科書の該当箇所を読んでおく				
				復習 課題レポート、小テスト				
2	R3.4.22	木	III	クリティカルケア看護における臨床判断	講義	永松 有紀		
				予習 教科書の該当箇所を読んでおく				
				復習 課題レポート、小テスト				
3	R3.5.27	木	III	クリティカルな状態にある患者の全身管理(1)	講義	永松 有紀		
				予習 事例の病態、治療の説明資料作成				
				復習 小テスト				
4	R3.6.4	金	V	クリティカルな状態にある患者の全身管理(2)	講義	永松 有紀		
				予習 課題レポート				
				復習 講義資料や参考図書を用いて復習を行う				
5	R3.6.16	水	III	クリティカルな状態にある患者の日常性への支援	講義	永松 有紀		
				予習 教科書の該当箇所を読んでおく				
				復習 講義資料や参考図書を用いて復習を行う				
6	R3.7.7	水	III	クリティカルな状態にある患者の看護 人工呼吸器装着中の患者の看護 (1) (演習)	演習	坂井 智浩	1	白石 祈枝
				予習 行動プロセスの作成		永松 有紀		
				復習 演習を振り返り講義資料等を活用し根拠を復習する		佐藤 亜紀		
7	R3.7.14	水	III	クリティカルな状態にある患者の看護 人工呼吸器装着中の患者の看護 (2) (演習)	演習	坂井 智浩	1	白石 祈枝
				予習 行動プロセスの作成		永松 有紀		
				復習 課題レポート		佐藤 亜紀		
8	R3.7.21	水	III	クリティカルケア看護の役割	グループワーク・発表	永松 有紀		
				予習 演習を振り返り講義資料等を活用し根拠を復習する				
				復習 課題レポート、小テスト				